

つなぐ



清水地区 生石地区 空の日フェスタ
余土地区 防災研修会
五明地区 収穫祭
久谷地区 ふるさとウォーク/秋のフェスタ
興居島地区 船踊り
事務局連絡会

松山空港 空の日フェスタ 2024

清水地区 バスツアー



<ツアー内容>

11:45 勝山中学校出発
12:15 松山空港到着
12:30 空港内バスツアー
13:00 空の日フェスタ見学
15:15 松山空港出発
15:45 勝山中学校到着

教育文化部が、清水地区住民を対象に、バスツアーを開催しました。企画したツアーには、募集定員を超える応募で、(キャンセル待ちあり)大盛況でした。



生石地区 お楽しみステージ

会場では、様々な催しが行われ、その中の「お楽しみステージ」を生石地区まちづくり協議会が担当し、地区の方が出演しました。

(出演団体)

- ❖伊予民謡 茂弥教室による日本舞踊
- ❖生石保育園児によるソーラン節
- ❖西中学校吹奏楽部による演奏及びバトントワリング&ダンス

余土地区 防災研修会

愛媛大学地域レジリエンス学環の芝准教授を講師にお迎えし、防災研修会を開催しました。

研修会後半のワークショップでは、

- ① 現在、取り組んでいること
- ② 今から、取り組みたいこと
- ③ ②のなかで一番に取り組みたいことを各グループで考え提案し、投票しました。



南海トラフ地震に備えて!

10月31日(木)、青少年センターで、各まちづくり協議会の事務局長と事務員の皆さんを対象に事務局連絡会を開催しました。

新型コロナウイルス禍のため5年ぶりの対面開催、自己紹介に続き、各まちづくり協議会が取り組んでいる事業についてまとめた資料を元に、AからFの6グループに分かれて意見交換し、それぞれの地区が抱える悩みなどを相談し合っていました。



2

ワークショップではテーマを元に以下の視点で話し合いました。

- 自身の協議会で取り組んでいること、取り組みたいこと
- もっと充実させたいこと、取り組みたいが取り組めていないこと
- 何があれば実現できるか、どうすれば実現できるか

(主な意見)

まちづくり協議会が
取り組みたいこと
取り組んでいること

松山まつりに参加する
新しい居場所づくり
貧困家庭対策
新しい団体とのつながりを作る
ご当地商品券の販売
中学校の部活動への支援(遠征費の補助)
補助だけでなく他の形での支援
地区の伝統行事を体験
子どもの農業体験
子育て中の親を地域の住民がサポートするシステム
防災の要支援者及び外国人の避難計画を立てる

役員の中に、他の組織(自主防災組織等)にも所属している人がいて、忙しそう...

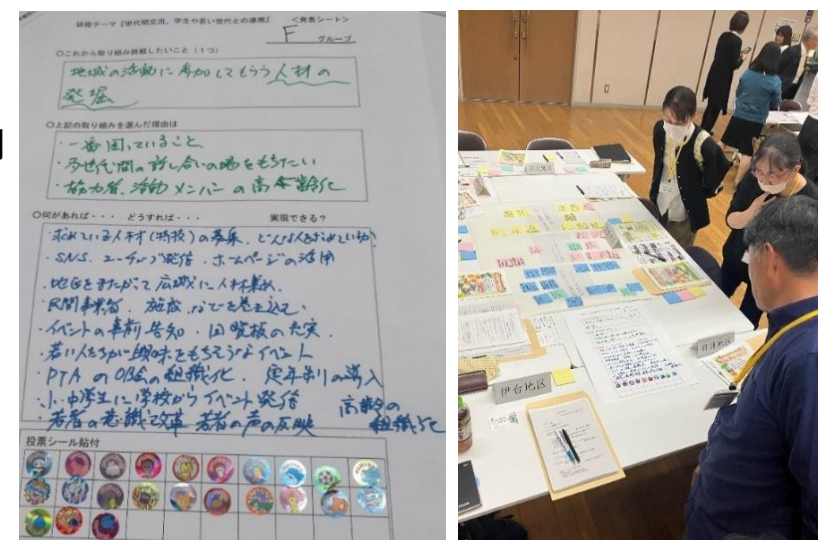
子ども向けのイベントを企画して、まずは親世代にもイベントに参加してもらおう

大学生も呼び込みたいよね

大学がない地区はどうやって、大学生を呼び込めるのかな...

各グループの
これから取り組み挑戦したいこと

- A コミュニティスクール活動の充実
- B まちづくり協議会の役員確保
- C 若手から高齢者まで新たな参加者の獲得・新しい団体の参加
- D 学生活動部の設立
- E 体験を通じて地域への愛着を醸成
- F 地域の活動に参加してもらう人材の確保



『これから取り組み挑戦したいこと』をグループごとに一つ書き出し、どのようにすれば実現できるのかを話し合い、参加者で投票し合いました。

その中から、「F 地域の活動に参加してもらう人材の確保」が最も多く票を集めました。

○取り組みを選んだ理由

- ・一番困っていることだから
- ・多世代間の話し合いの場をもちたい
- ・協力者、活動メンバーの高齢化

○どうすれば実現できるか

- ・求めている人材(特技)の募集
- ・SNS、YouTube 発信、ホームページの活用
- ・地区をまたがって広域に人材集め
- ・民間事業者、施設などを巻き込む
- ・イベントの事前告知、回覧板などの充実
- ・若い人たちが興味をもちそうなイベントを開催する
- ・PTAのOB、OG会の組織化
- ・小中学生に学校からイベント発信
- ・若者の意識改革、若者の声の反映

その後、松山市コミュニティ・アドバイザーより講評をいただきました。



若松 進一 氏

若い人たちが、どのような思いで、まちづくり協議会の活動を見ているのか。若い人の思いを大切に活動してほしい。将来のリーダーを育てていくために、若い人材、歳をとった人材の力を存分に発揮し持続的なまちづくりを行ってほしい。



前田 眞 氏

NPO サポートセンターや大学のボランティアセンターなどに相談し、若い人たちに関わりを求めることもできると思う。

今回、お互いの内部状況を含めて情報共有、情報交換ができ、ここでのつながりを今後も活かしてほしい。



笠松 浩樹 氏

愛媛大学は、昨年度からインターンシップが単位化した。まちづくり協議会にもインターンシップのプログラムを作ってもらえたら嬉しい。地域でどれだけ活動が進んだか、学生が自分で考えて行動したかが成果として上げられると思う。

HP : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/tikudayori.html>

Facebook : <https://www.facebook.com/machijoho>

発行 : 松山市役所 まちづくり推進課

TEL:(089)948-6963

FAX:(089)934-1821



<設立状況(R6.12.1) 全41地区中>
まちづくり協議会 31(33地区)
まちづくり協議会準備会 0(0地区)

4





《毎月第4土曜日開催》



五明地区 収穫祭

9月の五明収穫祭では葡萄や野菜の直売が行われ、多くの方が来場しました。

大粒の葡萄は、甘くてとってもジューシーでした。

その他にキッチンカーや、カレー、たこ焼き、季節の天ぷらも大人気。「お寺カフェ」では、手作りスイーツとコーヒーを味わい、楽しそうに談笑されている方々の姿がありました。



久谷地区

ふるさと ウォーク



坂本小学校を出発し、大黒座、金毘羅神社、浄瑠璃寺、八坂寺、生目神社、月見大師と、地区内の文化遺産を巡りました。生目神社からは、松山市内を見渡すことができ、敷地内にはベンチがあるので気持ちの良い風を感じながら休憩することができます。親子での参加が多く、子どもたちは道中に出会った季節の虫たちにも興味津々でした。

秋のフェスタ

国指定重要文化財「渡部家住宅」で久谷中学校の音楽部による琴演奏や荏原児童クラブによるダンスなどが披露されました。キッチンカーやマルシェでは人が賑わい大人気でした。

トウクトウクで坂本屋などを巡るコースでは、坂本屋で地域の皆さんが団体のお遍路さんにお茶やお菓子を渡してお接待し、笑顔で次の札所に向かう様子を見ることができました。



興居島地区

船踊り

10月5日に興居島秋祭りで奉納される「船踊り」が披露されました。興居島地区まちづくり協議会は興居島船踊保存会を支援しています。

船踊りは、愛媛県無形民俗文化財に指定されており、由良地区と泊地区が毎年交代で実施しています。演目『紅葉狩り』は、戸隠山に住んでいる鬼と若き3人の侍たちのお話です。会場には、多くの観客が訪れ、踊りの間に声援や拍手が入ったりし、大いに盛り上がりました。